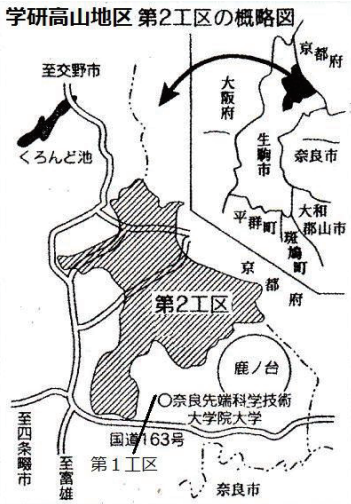


私たちのマイサポ登録事業へのご支援、ご参加をお願いいたします！

学研高山第2工区のあり方を考える生駒市民の会



【1】今日は、学研高山第2工区を略して**第2工区**といいます。私たちは、**生駒市北部に広がる里山**である第2工区がこれからどうあるべきかを市民の皆様と一緒に考え決めていこうという活動をしています。その一環として、「**国営“あいな里山公園”里山体験ツアー**」を今年度のマイサポ事業に登録いたしました。

【2】第2工区の場所は左の地図の通りです。先端科学技術大学院大学がある地区を学研高山第1工区といいます。第2工区はその北側にあります。第2工区の面積は**約288ha**（生駒市の面積の約5%）。**第2工区がどうなるかは生駒の未来を大きく左右**します。

【3】右の上の写真は、第2工区の景観です。第2工区のあり方としては、このような景観を維持・再生する。つまり**里山の保全（維持・再生）を主体とする**という選択肢があります。



右の下の写真は、開発のイメージ写真です。このように山を削り谷を埋めて更地を造成して学術施設・産業施設等の工作物を設置する。つまり**開発を主体とする**



との選択肢もあります。

【4】左は、マイサポ登録事業紹介冊子掲載の、**私たちのマイサポ登録事業の紹介文**です。第2工区のあり方を考えるための材料をご提供するため、**里山の保全・活用事業の代表的事例**である「国営“あいな里山公園”」の里山体験ツアーを実施いたします。

【5】そこで、“あいな里山公園”をご紹介します。
（1）この公園”は、**神戸市北部**にあり、**里山の景観を維持・再生し、里山の文化・生活・自然を体験・体感できる公園**としてつくられました。面積は第2工区の約8割で、その一部が今年5月に第1期開園しました。

<対象事業名とその内容>

国営“あいな里山公園”里山体験ツアー

☆神戸市北部にある“あいな里山公園”（下の写真）は、里山の景観を保全再生し、都市近郊で誰もが気軽に里山文化を体験できる公園です。全234haで、その一部41haが今年5月に第1期開園しました。
☆このツアーに参加し、里山食を楽しみ、野良仕事を体験し、溪流や林で遊び、棚田の畦を歩き、古民家に親しむなどして里山の文化・生活・自然を体験・体感することで、奈良高山里山（学研高山第2工区）のあり方を考えてみませんか。（後日、体験者有志による公開報告会を開催します。）

- 日 時：2016年11月3日（祝）<日帰り> ●雨天順延
- 行 程：生駒・神戸市北部“あいな里山公園”…生駒 <往復 電車利用>
- 参加費：1300円。ただし、中学生は1000円、小学生は500円、未就学児は無料。飲食は各自でご用意ください。
- 参加申し込み方法：葉書またはFAXにて、住所・氏名・電話番号をお知らせください（小中学生・未就学児の方はその旨を明記下さい）。お知らせあり次第、こちらから詳細についてご連絡いたします。
- 定 員：25名程度（7月1日より、先着順に受付いたします。）
- 参加申し込み・問い合わせ先：〒630-0135 生駒市南田原町1051-8
山口昭夫（本会代表） FAX (0743-73-5434)

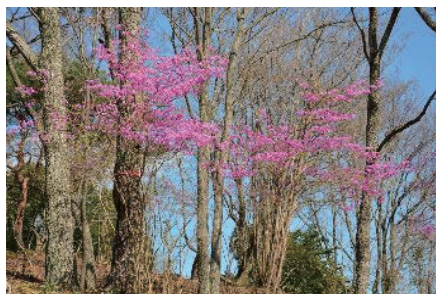


（2）この公園は**四季折々の景観**をもっています。

①ヤマザクラの開花で春の訪れを知る

②ツツジも開花

③やがて雑木林は新緑に覆われる



⑩初夏、田植えが終わった棚田



⑬棚田の稲は夏に成長



⑯やがて、冬が訪れる



⑪夏、キキョウが咲く



⑭やがて、棚田は実りの秋を迎える



⑰どんど焼き



⑲ヤマザクラの開花が春の訪れを知らせると里山の冬は終わる

⑫やまももが実を結ぶ



⑮秋が深まると紅葉



⑱雪の里山。



(3) ←これは、**古民家**です。このような古民家や古民家風の建物は、農作業や体験活動の拠点となるとともに**農村舞台**を再現し、収穫物を**里山の食**として提供するなど**さまざまなイベント**が行なわれます。

(4) →**遊歩道**が園内各地を結んでいます。



(5) ←これは、**田畑**での体験プログラムの様子です。

希望すれば、**季節ごとの体験プログラム**に参加することができます。

【6】以上で“あいな里山公園”のご紹介といたします（すべては紙面の都合上ご紹介できませんでした）。**里山を体験・体感する中で第2工区のあり方を考えていく「国営“あいな里山公園”里山体験ツアー**へのご支援・ご参加を御願いたします。